



アエファ AEFA通信

NPO法人 アジア教育友好協会

〒105-0014 東京都港区芝3-3-10 芝園オーシャンビル8F

電話 03(6426)0720 /FAX 03(6426)0721

新年明けましておめでとうございます ～ 2009年に馳せる AEFAスタッフの夢 ～



佐藤「今年も分かりやすさ・面白さに加え、アジアの学校と交流する意義を皆さんに感じていただける出前授業を練り上げていきます。ぜひご意見やご要望をお寄せ下さい」

金子「日本の子どもたちには、自分たちの世界が全てではないこと、厳しい環境で生きるアジアの子どもたちは決して自分と無関係ではないことなどを伝えたいですね・・・！」

酒井「7月に入所し、交流作品を担当しています酒井です。作品の数もおかげさまでどんどん増えてきて、嬉しい悲鳴です！翻訳作業は、本当にボランティアのみなさんのお力がなくてはできません。この場をお借りして、御礼申し上げます。有難うございます！！」

谷川「お陰様で、設立以来4年間で55校の建設を完了しました。ひとえに、ご支援くださる皆様のおかげと、心より感謝申し上げます。本当に有難うございました。今年、ベトナム中部高原(日本財団支援)を中心に、ラオス等でも学校作りを継続していきます」

佐川「去年は、付加価値のある学校創り～二重屋根で涼しい学校をラオスに作りました。今年もいろんなアイデアを出し合っていきたいね」



二重屋根校舎
～ラオス・ナトゥール小～

谷川「そうそう、風が通って快適なすばらしい校舎ができました。みなさんも、どんどんアイディアを出し合ってみて・・・？私はね、やはり『子どもによる子どものための夢の学校』作り、ワンコインスクール*を実現したいなあ・・・」

佐藤「ぜひ一緒にやってみたい！という元気なお子さんも出てきていますしね。その一方で、AEFAの活動にも実績と広がりが出てきていますから、今こそ丁寧な手作りの交流・地道な活動を大切に行いたいと思います」

遠藤「去年は交流事業では、各国パートナーNGOのスタッフが来日、授業を行うなど直接交流することができました。子どもたちにとって、直接ベトナムやタイやラオスの人と会って、話を聞ける・質問に答えてくれるという経験は、とても心に残ったと思いますよ」

金子「本当に、AEFAはご支援・ご協力してくださる皆様の支えがあってこそ、活動できていると実感しています」

星田「私も、ふだんはなかなかお手伝いできないけれど、それぞれができることをできる時に手をさしのべていく・・・継続していくことが大切だと思うわ。ぜひ、会員やボランティアのみなさまにも、末永く見守っていただきつつ、ご意見もキビシク頂戴したいと思います」

坪井「ベトナム担当としては、ダナン支部を立ち上げて、交流活動のお手伝いを着実にしていけたらと思っています。もっともっとベトナムのことを、日本のお子さんに知ってもらえたらうれしいです！」

田中「広報担当の田中です。今ね、会報第8号を作成中なんですけど、AEFAの活動は16Pの会報でも収まりきらないくらいです。苦労話など、ウラ話も入れたかったなあ」

谷川「世間では暗い話題が多いですが、AEFAでは支援・応援してくださる方が次々と登場し、一層の発展を予感しています。よ～し！今年はAEFAから明るいニュースをたくさん発信し、皆さんに夢を与えていこうではありませんか！」

一同「皆様、今年もよろしく御願ひ致します！！」

*ワンコインスクール・・・子どもたちが、自分で自主的に寄付する500円でアジアに学校を建てる「子どもによる、子どものための」学校作り構想。500円 x 1万人の子ども = 500万円の寄付額が目標。

ベトナム コンダオ小学校 & タンホアA小学校 開校式が行われました！

コンダオ小学校 日本財団『夢の貯金箱』に寄付された「青い地球の子どもたちアーク」様からのご支援で、ベトナム中部高原コントゥム省ダクト郡コンダオ村に、小学校が建設されました。08年12月19日の開校式には、村人や子どもたちも総出で約250人が集まり、ゴング(どら)を叩いたり、セダン族伝統の民族舞踊を披露したり・・・にぎやかなものになりました。「アーク」代表北條友梨さんも式に出席。「あっぷっぷ」



コンダオ小学校新校舎



子どもたちとふれあうアーク代表・北條さん

やじゃんけんなどで遊ぶうちに、緊張していた子どもたちもすっかり打ち解け、北條さんを囲んで喜びの笑顔の輪ができました。

タンホアA小学校 銀河ネットワーク様からのご支援を受け、ベトナム南部チャビン省にタンホアA小学校の新校舎建設が完了し、08年12月16日に開校式が行われました。子どもたちは行進や踊りを披露。地元の人々も大勢集まり、盛大に祝われました。



タンホアA小学校新校舎



アオザイを身にまとい踊る女子児童たち



ラオス・パチュドン小学校の子どもたちから絵手紙が届きました！

～東京都武蔵村山市立第八小学校～



集中して絵手紙に取り組むラオス・パチュドン小の児童

東京・武蔵村山市立第八小学校は、全校をあげて絵手紙に取り組んでおり、交流校のパチュドン小あてに絵手紙の作品を贈りました。「絵手紙交換を通して、日本文化を紹介したい・・・」という第八小の熱い思い、絵手紙を指導されている田淵伸子先生による

か得意気な子ども…。指導された池田先生も「ラオスでは、先生のお手本どおりに描く授業が中心なのですが、こんなに自由に面白い作品が



パチュドン小児童の作品

絵手紙キットのご寄贈、また現地ではJICA・青年海外協力隊として教育省で働いている池田哲朗先生のご協力を得て、08年11月、パチュドン小学校5年生に「絵手紙教室」が実現しました。パチュドン小の子どもたちは、初めて触れる筆、水を含ませるとにじむ顔彩にとまどいながらも、集中して思い思いにぐいぐいと描いていきます。それぞれ2枚ずつ作成、出来上がった作品は、かぼちゃ・かぼちゃの花・バナナ・木・あひる・魚・目・ハート・・・と、本当に個性豊か。「筆で描くのが難しい！にじんじゃった」とはにかむ子もいれば、会心の作が出来、「2枚とも日本の友だちに届けてね！」と、心なし

描けるとは！」と、驚きながらも瞳を輝かせていました。

08年12月、絵手紙を第八小学校の国際交流クラブにお届けしました。子どもたちは「ラオスの子はこんなに絵が上手なの？」と感激。文化や生活は違っても、気持ちを込めて描いた作品の持つ力は万国共通、絵手紙を通じて心の通い合った瞬間でした。



パチュドン小の児童の作品に見入る～武蔵村山第八小

ベトナムに・世界に友だちをつくりたい - 奈良市立済美小学校 小学6年生からのお手紙 -

10月23日、奈良市立済美小学校にて、ベトナムのNGOスタッフ・ホアンさんとAEFAスタッフ、交流校のアン・ルオン・ドン小学校を紹介する出前授業を行いました。ホアンさんを通して、ベトナムと交流校にぐっと親近感をもった子どもたちが、出前授業の感想文を書いてくれました。6年生女子のKさんの感想を紹介します。

「ホアンさんが、とても真剣な顔で『ベトナムの子どもは、今一番何をほしがっていると思いますか。』そうおっしゃった時、私がふと思ったのは「家」「水道」・・・ベトナムには豊かさがほしいと思ったのです。でも、ホアンさんはおっしゃいました。『ベトナムの子どもが一番ほしがっているのは、友だちです。』私はその一言を聞いたとき、豊かでない環境にいるのに、そんなことよりも友だちがほしいというにおどろきました。でもその後、友だちがほしい、友だちをつくるというのは、くらしのことよりも大切なことなんでしょう。それを聞いて、私はもっとベトナムの子と仲良くなって友だちになりたいと思いました。」

Kさんは、感想文だけでなく、自発的にアン・ルオン・ドン小の子どもたちに、お手紙も書いてくれました。「もっと世界に友だちをつかって仲良くなれたらと思っています。もっとベトナムについて知りたいし、日本とベトナムが仲良くなれたらいいなと思っています。」



心のコもったKさんの手紙

1月24日(土)はボランティア活動日です ～会報発送ボランティア募集！～

1月24日13時～、AEFA会報第8号の発送作業を行うため、事務局をオープンします。一緒に作業して下さるボランティアの方を募集します。ボランティアを始めてみたい方、事務局にいらっしやるのは初めての方、理事長の話聞いてみたいという方・・・ぜひお越し下さい！参加いただける方・お問い合わせは、下記までお願い致します。

電話：03-6426-0720
E-Mail: sakai@nippon-aeфа.org

フレンドシップ校の先生方へ

*ベトナムからの交流作品をお届けできるのが、2月ごろになる見込みです。現地より到着後、翻訳等が済み、送付準備完了次第お送りしますので、しばらくお待ち下さいませようお願い申し上げます。

*2月中旬にAEFAスタッフがベトナムへ出張予定です。ベトナムあての交流作品を持ってまいりますので、作品のご用意がございましたら1月中にお送りいただけますとスタッフが直接ベトナムへ持っていくことができます。